

一般社団法人日本樹木医会北海道支部 令和6年度冬期事例発表会

日時 令和7年2月22日（土） 13:30～17:30

場所 かでる2.7 940研修室 （札幌市中央区北2条西7丁目）

プログラム

時間	発表者	題名	要旨
13:30	開 会		
13:35 ～14:05  発表20分 質問10分	○神田 克明 今田 秀樹	北海道の記念保護樹木「慶喜の松」の診断について	北海道の記念保護樹木に指定されている「慶喜の松」は、その昔、松前藩家老蠣崎藏人が徳川15代将軍慶喜より拝領した松を、江差町五厘沢に移植したといわれている。推定樹齢280年と道内でも数少ない高齢樹のクロマツである。この由緒ある貴重な松を長く後世に残すため、その容姿や外観診断等により健康状態を明らかにするとともに、今後の保全対策について検討したので紹介する。
14:10 ～14:40  発表20分 質問10分	○井口 和信	富良野地方における虫害の観察記録－1980年からの43年間－	森林被害の一つに虫害があります。通常、森林と昆虫類による摂食の間にはバランスが保たれ被害として認識されるレベルまで被害されることはありません。しかし、時としてそのバランスが崩れ虫害と呼ばれるような被害が発生することがあります。私は1980年からの43年間、東京大学北海道演習林（所在地：富良野市）で森林管理に従事し、さまざまな虫害を経験してきました。そのうちの主な観察記録を紹介します。
14:45 ～15:15  発表20分 質問10分	○譜久里 泉	令和6年度（一社）日本樹木医会香川大会記念講演及びエキスカッションに関する報告について	今回の大会は平成18年から16年間所属していた日本樹木医会香川支部が実行委員会を務めた。記念講演及びエキスカッションでは、未熟土壌である花崗岩（マサ土）地帯かつ年間降雨量が少ないという植物にとって厳しい状況の中で取り組んできたシンパクの再生事業等について紹介する。
15:15 ～15:30	休 憩		
15:30 ～16:00  発表20分 質問10分	○川口 治彦 ○池ノ谷 重男	マサキナガタムシによるツリバナの被害について	2017年に札幌市南区のエドウィン・ダン公園に植栽されたツリバナに原因不明の衰退が見れた。その後他の公園等にも同様の被害見られ、この衰退原因はマサキナガタムシによるものと判明したので、加害種と被害木の特徴について紹介する。
16:05 ～16:45  発表30分 質問10分	○石山 隆	街路樹診断業務におけるChatGPTの活用事例	2024年の札幌市の街路樹診断業務において、診断カルテの校正にChatGPTを活用しました。その活用方法と成果について紹介します。
16:50 ～17:30  発表30分 質問10分	○阿部 正太郎	樹木診断を振り返って	20数年間、毎年、色々の木を診断してきた、改めて振り返っていろいろ考えて見た。 樹木医とは、樹木診断とは、大切な事、心掛けなければならない事等々、これらを改めて考えることは、これからの進歩のためになると思う。
17:30	閉 会		

※○は発表者